

平成13年度工学部技術部研修会報告

研修担当代表 長岡敏彦

本年度の工学部技術部研修会が、平成13年11月28日(水)、ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーにおいて技術部実施運営委員会の主催により開催されました。この中で、課題技術報告1件、専門技術報告7件の発表が行われました。

また、技術職員を学外の研修機関へ派遣して専門技術を取得させる研修が本年度より設けられましたのでこの研修にて習得された技術の報告と当技術部における共通業務遂行の一貫として開発された諸技術等を「技術研究報告」として4件の発表が行われました。

午前の部は、後藤俊夫技術部長による「開会の挨拶」に始まり、ひき続いて講演を行いました。1つ目は、宇佐見政弘工学研究科事務部長に、「大学はいま」という演題にてご講演していただきました。ご講演の中に、学制改革や行政独立法人化など大学を取り巻く厳しい状況が取りあげられていました。2つ目は、「『寸法によって世界が変わる』、副題、巨大機械からマイクロ・テクノロジーまで」をマイクロシステム工学専攻科の佐藤一雄教授の講演を予定していましたが、講演当日にやむを得ない事情が起きましたので講演を中止させていただきました。そこで、この時間を急きょ、「工学部技術部の全体討論会」に変更させていただきました。研修・講習WGとしては、中止となった佐藤教授の講演は、当技術部の職員にとって重要な技術であると認識しておりますので、機会があれば是非ご講演願いたいと思っています。

午後の部では、「課題技術報告」、「専門技術報告」、「技術研究報告」が各テーマごとに集中的に発表され、活発なる質疑応答が行われました。

この後、優秀チームの表彰に先立ち選考委員6名による研修のねらいと意義、結果、発表態度・方法の観点から総合評価を行いました。その結果、「工学部におけるエネルギー環境調査と対策」、「PCの標準インターフェースとそれを用いたPC制御利用技術」、「分子線散乱装置の回転角制御系の製作」が表彰されました。

最後に、松井恒雄評議員より研修会の総評を取りまとめていただき、併せて、「閉会の挨拶」を頂き、今年度の研修会を無事終えることができました。

研修会の終了後、懇親会を催し、技術部長、評議員、事務部長、多数の技術職員が参加し、リラックスした雰囲気の中で楽しく且つ有意義な一時となりました。

なお、大学改革期の大変な時期に、本研修会の企画・実施に際して後藤技術部長、技術部運営委員会委員、関係各教室教官、宇佐美政弘事務部長並びに事務部担当官の皆様には多大なるご支援ご協力を頂戴いたしましたことを申し添え、技術部職員一同、心より御礼申し上げます。

研修会の要項

日 時：平成13年11月28日(水) 午前10時～午後5時

場 所：ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー3階 ホール

研修の概要

1. 講演

- 1) 「大学はいま」 工学研究科事務部長 宇佐美政弘氏
- 2) 「寸法によって世界は変わる」- 巨大機械からマイクロ・テクノロジーまで - (中止)
工学研究科マイクロシステム工学専攻 佐藤一雄教授
中止につき、「工学部技術部の全体討論会」

2. 技術研報告

【課題技術報告】	1件
【専門技術報告】	7件
【技術研究報告】	4件